

< 高付加価値型農業を実施している事例 >

共同作業で国道の道路花壇整備、農道補修

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	秋田県 <small>せんぼくぐんにしきむら</small> 仙北郡西木村 <small>じゅうにとうげ</small> 十二峠			
協定面積 3.15ha	田(100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻、そば	-	-	-
交付金額 66.1万円	個人配分			50%
	共同取組活動分 (50%)	農地法面、農道、水路の点検補修等		34%
		多面的機能増進活動(周辺林地の草刈)		10%
		リーダー育成		6%
協定参加者	農業者 4人			

2. 活動内容の概要

十二峠集落協定は、山沿いの高低差の大きい農地を所有する農家4戸により平成12年度に締結された。1戸当たりの農地は約78aで稲作中心の営農となっているが、山沿いの農地のため生産効率は良くない。最近ではそばの栽培が盛んで、村内の物産販売施設等へ供給している。また協定内でもそば打ちの技術を習得している参加者がおり、将来は自前で蕎麦屋の経営をしていきたいとしている。

農地は高低差が大きいため畦畔の法面も大きく、大雨の際は農道を雨水が流れるため洗掘され、崩壊が著しい。このため法面の草刈り、水路の泥あげ、道路の補修は個々には対応しきれなかったが、協定を締結したことにより共同で作業を行ない、大規模な補修にも協力体制が整った。また、対象地に接する国道105号線沿いにマリーゴールドを植栽し、通行するドライバーの目を楽しませている。



雨水により洗掘された農道の補修



国道沿いに植えられたマリーゴールド

[活動内容]		
農業生産活動等	多面的機能増進活動	その他の活動
農地の耕作・管理(田3.15ha) 個別対応	周辺林地の下草刈り (約0.3ha、年1回) 共同取組活動	山振で整備した直売施設内で村 内産のそばを提供しているそば 研究会に玄そばを供給している 個別対応
水路・作業道の管理 ・水路500m、年2回 清掃、草刈り ・道路500m、年2回 草刈り 洗掘箇所(アスファルト補修) 共同取組活動	景観作物作付け (マリーゴールドを国道沿い に植栽) 共同取組活動	首都圏の森林ボランティアとの 林業体験交流 共同取組活動

3. 高付加価値型農業への取組

高付加価値型農業への取組としては、ほうれん草とそばの栽培に取り組んできたが、ほうれん草栽培については後継者不足等からあまり伸びなかったが、比較的労力の掛からないそばの栽培は順調に栽培面積を増やしている。その結果、平成12年度山村振興等農林漁業特別対策事業で建設した直売施設において提供されている「手打ちそば」の原料として、玄そばが供給されている。この直売施設でそば打ちをしている西木村そば研究会の会長は本協定集落の隣接協定集落の協定者であり、将来は一緒に村内産のそばを提供できる施設運営を目指すこととしている。



都市の森林ボランティア等による体験交流



耕作放棄になりそうな山間部の農地へのそば栽培

[平成16年度までの主な効果]

- 洗掘された農道のアスファルトによる補修(330m)
- 大規模な水路の補修(ヒューム管や木材による補強:300m)
- 景観作物の作付け(国道105号沿いにマリーゴールドを150m植栽)
- 首都圏からの森林ボランティアを招き、集落全体で林業交流体験を実施。
- そばの栽培(70a(協定全体の22%) 約112a(同36%))